

1 可愛いイレーヌ リカちゃんつき前売券

会期中、会場特設ショップで販売する「至上の印象派展記念可愛いイレーヌ リカちゃん」と観覧券1枚(一般)がセットになったお得な前売券です。50枚限定。販売期間 2月17日[土]～5月18日[金] ※限定数に達し次第終了 価格 一般 7,500円(税込) 販売場所 ローソンチケットのみ ※電子チケットは購入の際に各プレイガイドによって各種手数料がかかる場合があります。ご了承ください。 ※グッズは、会期中に会場特設ショップにてお引換えください。



2 可愛いイレーヌ or 赤いチョッキの少年 プロマイドつき前売券

「可愛いイレーヌ」か「赤いチョッキの少年」のプロマイド(L版)と観覧券1枚(一般)がセットになったお得な前売券です。販売期間 2月17日[土]～5月18日[金] ※限定数に達し次第終了 価格 一般 1,450円、高次生 750円、小中生 350円(税込) 販売場所 セブン-イレブンのみ ※電子チケットは購入の際に各プレイガイドによって各種手数料がかかる場合があります。ご了承ください。 ※プロマイドはセブン-イレブン店頭のマルチコピー機でプリントしていただけます。



講演会「印象派の至宝を楽しむ。ビュールレ・コレクションの名画の数々」 日時 5月19日[土] 午後1時～午後2時30分 講師 深谷克典(名古屋美術館 副館長) 会場 九州国立博物館1階ミュージアムホール 定員 280名 申込締切 4月28日[土]必着



「井上涼の印象派ライブin福岡」 日時 6月2日[土] 1回目:午前11時30分～午後0時10分 2回目:午後2時～2時40分 会場 九州国立博物館1階ミュージアムホール 定員 280名 申込締切 5月12日[土]必着

【申し込み方法】 往復はがきまたはメールで受付。ご希望のイベント名(講演会 or びじゅチューン!)、郵便番号、住所、希望者全員の氏名(ふりがな)、電話番号、人数(1通につき最大2名まで受付可)、びじゅチューン!は参加希望回(1回 or 2回目)を明記のうえ、下記宛にお申込みください。

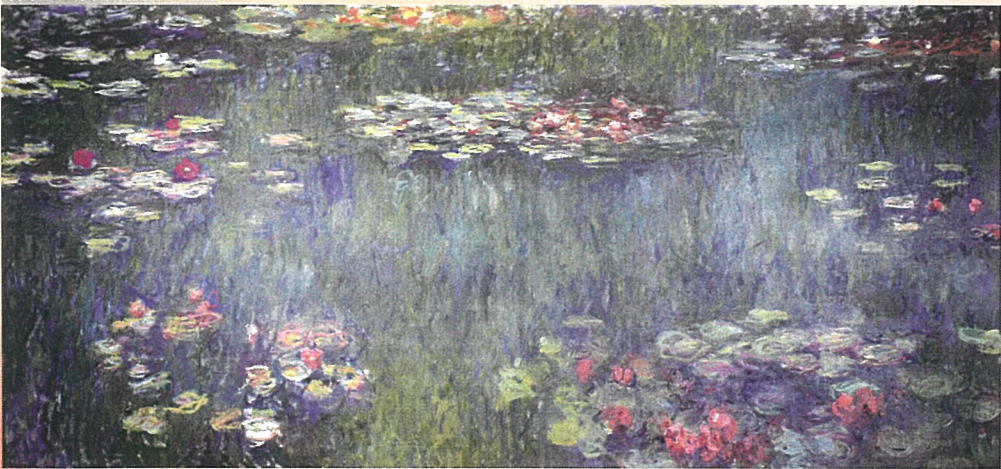
〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞イベントサービス内「ビュールレ展」係 E-mail: buehrle@nishinippon-event.co.jp ※往信用裏面/上記必要事項をご記入ください。返信用表面/郵便番号、住所、氏名をご記入ください。 ※2名で応募される場合は、それぞれの氏名を明記してください。 ※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。 ※当選者の発表は聴講券の発送をもってかかせていただきます。 ※ご応募の際にいただいた個人情報、本イベントの連絡にのみ使用させていただきます。

【関連イベントに関するお問い合わせ】 西日本新聞イベントサービス内「ビュールレ展」係 TEL:092-711-5491(平日午前9時30分～午後5時30分)

音声ガイドナビゲーターは、井上芳雄さんに決定! ムージカル界のプリンスとして名高い俳優・井上芳雄さんが、本展覧会に集う名だたる画家たちのストーリーをご紹介します。 【貸出価格:一台520円(税込)】



日本初公開! 撮影



クロード・モネ「睡蓮の池、緑の反映」1920-26年1 油彩、カンヴァス ©Foundation E.G. Bührle Collection, Zurich (Switzerland) Photo: SHK-ISEA, Zurich (J.-P. Kahn)

モネ晩年の4メートル超の大作

観覧料 一般 1,600(1,400)円 | 高次生900(700)円* | 小中生500(300)円* ※学生証等の提示をお願いします。

※()内は前売り、夜間割引および団体料金(有料の方が20名以上の場合)。 ※上記料金で当館4階「文化交遊展(平常展)」もご覧いただけます。 ※観覧者手帳等をご持参の方とご一緒の観覧は無料です。 展示室入口にて障害者手帳等(詳細についてはHP等をご確認ください)をご提示ください。 ※満65歳以上の方は前売り一般料金でご購入いただけます。 ※売完時に生年月日がわかるもの(健康保険証・運転免許証等)をご提示ください。 ※キヤノンメンバーの方は団体料金でご購入いただけます。 ※売完時に学生証、教職員証等をご提示ください。 ※夜間割引料金のチケットは夜間開館当日午後5時以降に九州国立博物館売券所で販売します。 ※夜間割引料金で購入されたチケットで午後5時以前に入場することはできません。 ※割引の併用はできません。

チケットは、ローソンチケット(Lコード9172)、チケットぴあ(Pコード768-819)、セブン-イレブン、イーブラス、ファミリーマートほか主要プレイガイドにて2月17日[土]から発売開始。 ※会期中の電子チケットは当日料金での販売となります。 ※電子チケットは購入の際に各プレイガイドによって各種手数料がかかる場合があります。 ご了承ください。

展覧会公式ホームページ <http://www.buehrle2018.jp/>

交通案内 【公共交通機関】 【西鉄電車】 西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分 / 急行約19分)で西鉄二日市駅乗換え、西鉄太宰府線(約4分)で西鉄太宰府下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要 【JR】 JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用 【西鉄バス】 博多バスターミナル(1階)1番のりば太宰府行きから西鉄太宰府線下車(所要時間約40分)、徒歩約10分 【車】 【九州自動車道】 太宰府ICまたは筑紫野ICまたは高道交差点経由で約20分 【福岡都市高速】 水城出入口から高道交差点経由で約20分 【タクシー利用】 JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

会場 九州国立博物館 3階 特別展示室

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2(太宰府天宮宮儀) <http://www.kyuhaku.jp> NTT ハロワイヤル 050-5542-8600(午前8時～午後10時 年中無休)

※ 本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。



恋をする きつと あなたは

Bührle Collection 印象派展

Impressionist Masterpieces from the E.G. Bührle Collection, Zurich(Switzerland) ビュールレ・コレクション

【主催】九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社、NHK福岡放送局、NHKブランチ九州 【共催】(公財)九州国立博物館振興財団 【協賛】相模プロセブ日本興業、読水へのアムステルダム・ブレンデルグループ 【特別協力】太宰府天宮宮儀(協力)スズキ観光局、スズキインターナショナルエアラインズ、日本貨物航空、ヤマトロジスティクス 【後援】外務省、スズキ大使館、住友銀行、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、九州・中韓教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、北九州市、北九州市教育委員会、太宰府市、太宰府市教育委員会、福岡県協会、アンスティチュ・フランセ九州、西日本テレビ放送局、FM FUKUOKA、LDM FM、西日本放送、九州放送、日本自動車連盟福岡支部、NEXCO西日本九州支社、福岡県タクシー協会、福岡市タクシー協会、福岡商工会議所、太宰府市商工会、太宰府観光協会、日本旅行業協会、西日本文化サークル連合、西日本新聞TC文化サークル、福岡県プロバレーボール協会

2018 平成30年 5.19[土] — 7.16 月祝 九州国立博物館

休館日 5月21日[月]、6月4日[月]、6月18日[月]、7月2日[月] 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館(入館は午後7時30分まで) ルノワール、ファン・ゴッホ、モネ、セザンヌ、マネ、ピカソ...巨匠の代表作が一堂に集結!

ビュールレ・コレクション「印象派展」(可動/複製) 1800年 | 画像: カンヴァス ©Eugen Fritsch Collection, Zurich, Switzerland Photo: SHK-ISEA, Zurich (J.-P. Kahn)



ドイツ生まれのエミール・ゲオルク・ビュールレ(1890-1956年)は、第一次世界大戦後スイスに移り住み、実業家として大成功をおさめました。亡くなるまでのわずか20年間に、豊かな資金で印象派やポスト印象派を中心とする絵画を収集し、世界でも指折りのプライベート・コレクションを一人で築き上げました。本展では、マネ、モネ、ドガ、ルノワール、ゴーギャン、ファン・ゴッホなど、印象派、ポスト印象派の巨匠の作品はもちろんのこと、彼らに先行するオランダのフランス・ハルス、イタリアの風景画家カナレット、フランス古典派のアングルや、20世紀に生まれたキュビスムのブラック、フォーヴィスムのマ蒂斯、そしてひとつの枠に収まらないピカソなどによる美術史上きわめて重要な作品多数をご紹介します。

本展は、ビュールレ・コレクションを日本でまとめて見られる最後の機会となります。西洋絵画300年の流れをうつつし、珠玉の傑作64点をお楽しみ下さい。

巨匠の代表作が一堂に

「画集でよく見るこの絵は、ビュールレ・コレクションにあつたのか!」
ドイツの大学で美術史を学んだビュールレは、コレクションの充実にあたって、ある画家の代表作1点に満足することなく、さまざまな時期と画題のものもあわせて収集するように努めました。本展では、モネ、ドガ、ルノワール、セザンヌ、ファン・ゴッホら印象派やポスト印象派の巨匠たちによる肖像画、風景画、静物画など異なるジャンルの作品が並びます。それぞれの作家の画風の変化もあわせて、観下下さい。



ポール・セザンヌ《赤いチョッキの少年》1888-90年 | 油彩、カンヴァス

Paul Cézanne



フィンセント・ファン・ゴッホ《日没を背に種まく人》1888年 | 油彩、カンヴァス

J.M.W. Turner



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《泉》1906年 | 油彩、カンヴァス

Auguste Rodin



ポール・ゴーギャン《廻りもの》1902年 | 油彩、カンヴァス

Paul Gauguin



エドゥアール・マネ《ベルヴェの庭の隅》1880年 | 油彩、カンヴァス

Edouard Manet



ウジェーヌ・ドラクロワ《モロッコのスルタン》1862年 | 油彩、板に貼られたカンヴァス

Jules-Denis Lafarge

その半数が日本初公開

ビュールレ・コレクションの日本公開は、横浜美術館での生誕100年記念世界巡回展から数えて27年ぶり、二度目となります。珠玉の名品64点が並ぶ本展では、前回の巡回展ではご紹介できなかった傑作が全体の約半数を占めています。なかでも、モネ晩年の大作《睡蓮の池、緑の反映》(2×4.5メートル)は、ビュールレがジュヴェニーのモネのアトリエに出向き、1952年にモネの息子から購入したものです。デュリヒに運ばれてから今回初めてスイス国外で披露されます。

多くの日本人がまだ見たことのない、近代フランス絵画史をいどころ作品の数々が会場で見られることをお楽しみに。

からの盗難奇生

ビュールレの没後、遺族は財団を設立し、自宅別棟で、1960年から2015年までビュールレ・コレクションを公開してきました。2008年の開館中に、武装強盗団がモネ、セザンヌ、ファン・ゴッホの絵4点を強奪しました。幸い、後にすべて無事取り戻されましたが、その評価額当時約175億バグが大きな話題となりました。会場に4点すべてが展示されています。2020年に、ビュールレ・コレクションはデュリヒ美術館に移管されるため、同コレクションをまとめた形で日本で見ることが出来る最後の機会となります。ぜひお見逃しなく。



パブロ・ピカソ《花とレモンのある静物》1941年 | 油彩、カンヴァス

Pablo Picasso